

品質で選べば
朝日フェンス

目かくしフェンス
ルーバータイプ

SLV

STEEL LOUVER

目かくしフェンスSLV (スチールルーバー)



WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

鋼製フェンスの強度で 安心の暮らしを。

耐風圧強度

建築基準法対応

建築基準法・同施行令(平成12年6月)に
基づく風圧力をクリアしています。

〈耐風圧強度〉

呼称	基準風速	地表面粗度区分
SLV- 400	46m/s	Ⅲ
SLV- 600	46m/s	
SLV- 800	46m/s	
SLV-1000	38m/s	
SLV-1200	40m/s	

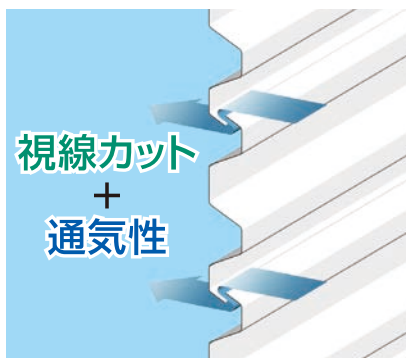
すぐれた耐食性

柱・パネルなどの主要部材には

ZAM SuperDyma を使用

「ZAM」、「SuperDyma」は、
溶融亜鉛めっき(GI)の5倍の耐食性を持つ
「高耐食性めっき鋼板」です。

※「ZAM」、「SuperDyma」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。
※「高耐食性めっき鋼板」は、日本産業規格JIS G3323(溶融亜鉛-
アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯)に準拠する
材料です。



〈規格・寸法〉

呼称	寸法	フェンス 高さ (mm) (H)	パネル 高さ (mm) (h)	主柱 規格 (mm)	単位 質量 (kg/m)
SLV- 400		406	391	□40×25×2.3	4.3
SLV- 600		596	581	□40×25×2.3	6.3
SLV- 800		786	771	□40×25×2.3	8.3
SLV-1000		976	961	□40×25×2.3	10.3
SLV-1200		1166	1151	□50×30×2.3	12.8

カラー



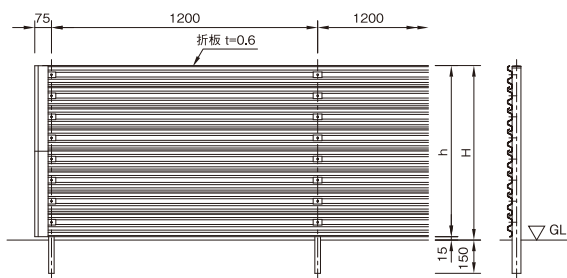
サテンブラック
(低光沢)

※表示の色は印刷のため、実際の色とは若干異なります。



グレーベージュ

〈参考図〉



※本図はSLV-800を表す。

組み合わせの工夫で デザイン性アップ

折板を1枚毎に配列するので
様々な配列パターンが可能です。
シーンに合わせて個性的で
自由な組み合わせが楽しめます。

配色・配列などの詳細は
お問い合わせください。



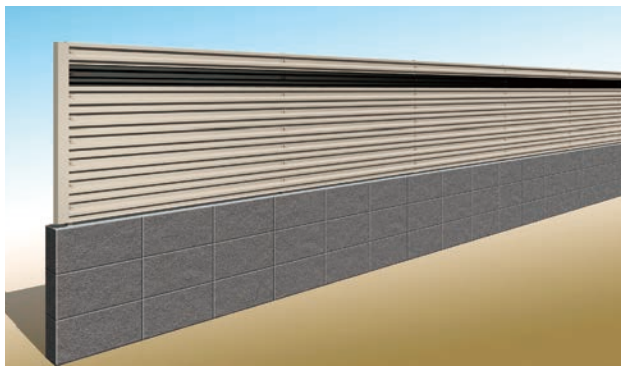
製品
WEB
ページ



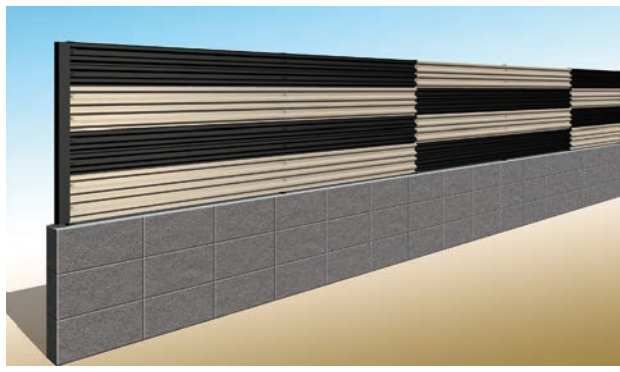
施工
要領



(フェンス裏側)



ラインアクセント



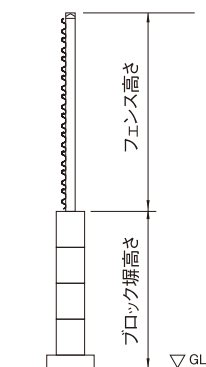
チェック

【ブロック塀に建込み時の注意】

主柱埋込み部に荷重が集中しますので破損が生じないよう、また基礎としての強度も十分にご検証ください。

【参考】日本建築学会の設計規準より

- ・ブロック塀に使用するブロックは、正味厚さ**12cm**以上にしてください。また、JIS A 5406(建築用コンクリートブロック)の圧縮強さによる区分C(16)と同等以上の性能を有するブロックをご使用ください。
- ・フェンスの高さにより、設置できるブロック塀の高さが異なります。下表をご確認ください。



フェンス規格	空洞、化粧CBの場合の最大ブロック塀高さ	型枠状CBの場合の最大ブロック塀高さ
SLV- 400	1.1m	1.2m
SLV- 600	1.1m	1.2m
SLV- 800	1.0m	1.2m
SLV-1000	0.8m	1.1m
SLV-1200	0.6m	1.0m

注意

- 当該製品は不燃材料ではありません。不燃材料の使用が必要な場所には使用しないでください。
- 弊社の一般タイプのフェンス製品は、強度について配慮の上、設計・製造しておりますが、原則として平地での圍障としての使用を目的とした製品です。この目的以外での使用は思わぬ事故につながる可能性があります。
- 屋上・高台・その他強風地域で使用しないでください。(必要に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。)
- 使用環境により品質劣化が進みやすくなりますのでご注意ください。設置場所環境(公害・塩害・水害等)を調査の上、仕様を決定してください。
- 腐食性ガス・海水・砂塵にさらされるような環境では、短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。
- フェンス柱地際部の処理はモルタル充てんを十分にし、基礎天端に水切り勾配を必ず付けてください。また基礎天端が土中に埋まる場合にはコンクリートで保護し水切り勾配を付けるか、弊社指定の亜鉛テープを巻いて土との接触がないようにしてください。地際部に水が溜まったり、柱が土と直接接触した状態では、めっきや塗装が早期に侵されます。(基礎天端が土中に埋まる場合には強度検討を致しますので弊社までご相談ください。)
- 表面に付着した汚れを長期間放置しておく、腐食の原因になることがありますので、定期的な水洗いとから拭きをするなどのお手入れをしてください。また、汚れの状況に応じて回数は増やしてください。
- お手入れの際には、布・スポンジ等の柔らかいものを使用し、金属製ブラシ・金べら等は使用しないでください。
- 弊社製品に関するご不明点の確認・ご相談等に関しましては、各地区の弊社営業担当者が対応させていただきます。何なりとお問い合わせください。

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

お問い合わせ、ご相談は下記までお願いいたします。

本 社	☎(087)833-5151(代)	〒760-8529 高松市花園町1丁目2番29号
四国営業部直通 (第1課)	☎(087)835-8730 FAX(087)835-8720	
(第2課)	☎(087)835-8700 FAX(087)835-8720	
中国営業部直通 (第1課)	☎(087)835-8820 FAX(087)835-8835	
(第2課)	☎(087)835-8850 FAX(087)835-8835	
東 京 支 社 (第1営業部)	☎(03)3239-4815 FAX(03)3239-4720	〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6(あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル)
(第2営業部)	☎(03)3239-4818 FAX(03)3239-4720	
(第3営業部)	☎(03)3239-4840 FAX(03)3239-4460	
大 阪 支 店 (第1営業部)	☎(06)6244-1910 FAX(06)6244-1911	〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-5-12(御堂筋本町アーバンビル)
(第2営業部)	☎(06)6244-1920 FAX(06)6244-1921	
(第3営業部)	☎(06)6244-1950 FAX(06)6244-1951	
九 州 支 店 (第1営業部)	☎(092)471-7621 FAX(092)471-7623	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-1(日本生命博多南ビル)
(第2営業部)	☎(092)471-7622 FAX(092)471-7624	
名古屋営業所	☎(052)932-3500 FAX(052)932-3510	〒461-0001 名古屋市東区泉2-27-14(関電不動産高岳ビル)
仙台営業所	☎(022)263-1790 FAX(022)263-1791	〒980-0021 仙台市青葉区中央3-2-1(青葉通プラザ)
工 場		多度津・西港・丸亀・高南・香東・坂出

<https://www.asahi-fence.co.jp>



(注記)製品の品質向上のため、予告なく製品仕様を一部変更する事があります。